

秋季 住民懇談会

10月16日～10月31日



伊藤副市長



菊島市長



茂尻栄町



幸町

秋季住民懇談会では、今年度進行中の事業に関する質問、来年度予算に反映する地域要望や意見など、市政全般にわたって幅広くお話を伺いました。

避難所・町内会館など

Q 避難所に指定されている町内会館などの施設で、トイレが古くて大変不便。改善に向けて検討してほしい(各地区で会館などの修繕の要望あり)。
A 各町内会から様々な要望を継続的に承っています。順次、財政状況などを見ながら検討していきたいと思えます。

公営住宅

Q 市営住宅が除却されてきれいになった。老朽化している住宅はまだ多く残っているが、今後の予定はどうなるのか。
A 財政的な理由で一気にというわけにはいきませんが、計画的に除却を進めています。
Q 空いている住宅を避難所として使えないか。
A 最初の避難場所は会館などを使うこととなりますが、例えば、住宅を失った方向けの仮住宅ということで検討の余地

があるかと思えます。

Q シルバーハウジングは、少なくとも自活できることが入居条件と聞いた。精神疾患や認知症が疑われるかどうかなどどこまで審査しているのか。
A また、除雪は入居者同士で行っているが、しなくてもよいと思っている人がいる。

Q 「60歳以上で、自分で生活できる人」などの入居基準がありますが、シルバーハウジングの建設から年数がたっており、入居したときはお元気で、年齢を重ねるうちに体調を悪くされる方もいるかと思えます。
A 周囲の除雪は入居者にお願ひしています。入居のときに説明はしていますが、今後も丁寧な説明を心がけます。

炭鉱遺産活用

Q ガイダンス施設建設で歳出予算が追加補正されたと聞いた。経緯を教えてください。
A 設計の際に地盤調査を行って支持層を推定し、8.75メートルの支持地盤でガイダンス施設の建設を計画しました。しかし、実際に工事が始まって試験ボーリングを行ったところ、設計で支持地盤と推定した層が

薄くて利用できなかったことから、深さ11メートルの岩盤を支持地盤として、基礎の深さを変更しました。
設計については、何力所も調査を行えば、より正しい支持地盤の深さがわかりますが、その分多額の調査費用がかかりますので、一般的には必要最小限の調査を行います。

Q 今後、予算が足りなくなるたびに追加補正するのか。
A 炭鉱遺産構想の説明会などでお話ししたとおり、新たに何かを作るときは皆さんの意見を伺います。無理な財政負担をかけるつもりはありません。今回は、すでに建設途中のガイダンス施設に関する不測の事態ということで補正をしましたので、ご理解ください。

Q 炭鉱遺産公園の計画でパークゴルフ場がなくなった。河川敷は災害で使えなくなるものが多く、楽しみにしていたので残念だ。
A 炭鉱遺産公園の計画では、反対意見を受けて計画からはずした経緯があります。パークゴルフ場のあり方については要望がありますので、炭鉱遺産公園に限らず、検討したいと思

います。

高齢者福祉

Q 高齢になって車の免許を返納するにも、赤平では車が必要ならばどこにも行けない。

A いわゆる買い物難民などが出ないように、行政として何ができるか検討していきたいと思っています。

Q 玄関先の除雪について、一人暮らしの高齢者世帯は大変。他市では一冬1万5千円で除雪を行う業者もいると聞く。



高齢者宅の除雪作業

A 市では75歳以上の高齢者などが除雪を業者に依頼した場合、上限2万円で補助を行っています。業者が少ないという問題があり、地域ボランティアで除雪を行う人への謝礼も補助の対象としました。社会福祉協議会でボランティアの登録をしています。こちらも人数に限りはありますがご相談ください。

Q 独居老人宅で新聞受けなどを見ると住んでいる様子がなかった。見守りや災害時救助の関係もあるので市役所に転出したのか確認したが、教えてもらえなかった。

A 安否確認は、市の包括支援センターや社会福祉課に相談していただければ、警察と一緒に確認も可能です。

住民基本台帳上の情報は、個人情報保護の観点からお伝えすることができませんので、ご理解ください。

市立病院

Q 市立病院の経営状態はどうなっているのか。

A 最近の傾向としては外来患者が減少している一方、入院患者は多めに推移しています。経営状態は健全です。

来年度から、病床機能を一部転換して地域包括ケア病床を導入する予定で、診療報酬上、比較的長い入院が可能となります。

Q 医師や看護師の数は足りているのか。

A 医師は最低限の必要人数を確保しています。内科、外科、整形外科、小児科は常勤医師がいますが、ほかは出張医です。

看護師も最低限の基準は満たしていますが、さらなる人員確保に向けて引き続き努力します。

学校教育・子育て

Q 赤平の子どもの学力は全国平均より低いと聞く。夏休みに大学生が来て勉強を教えたというが、成果はあったのか。



学生ボランティア

A 各小中学校の夏休み学習会で、江別市と札幌市の大学生のボランティアに活動していただきました。今後、放課後や冬休みの学習会についてもお願いしたいと思っています。

学力向上の効果はすぐに見えるものではないと思いますが、子どもたちには家庭学習の習慣づけなど、次につながる効果を期待しています。

Q 整備は中学校→小学校→認定子ども園の順と聞いているが、認定子ども園開設の見通しはどうなっているのか。

A 認定子ども園は、小学校統合の後に着手する予定でし

たが、幼稚園と保育所の統合によつて保育士の確保や充実が図られる面もあるため、前倒ししたいという思いはあります。小学校と同時か、または先にできないかを含めて検討中です。

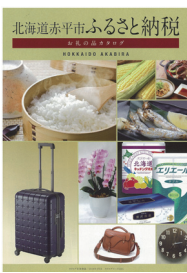
移住・定住

Q 赤平の企業の従業員は他市から通勤している人が多い。人口減少対策を図るべきと思う。

A 最初に他市に住んでしまうのと、途中で赤平に移るというのは難しい面があるかと思いますが、入社前の時期などで、企業を通じて家賃助成といった移住制度について周知しています。

ふるさと納税

Q 昨年度の決算報告(広報10月号)で、歳入の寄附金がふるさと納税にあたるのか。返礼品の値段はいくらか。



返礼品カタログ

A 寄附金のうち2億円弱がふるさと納税です。市外から寄附された方には赤平の特産品

を送っています。返礼品については寄附金の約30%です。

その他・市政一般

Q 平岸コミセンの申込み方法や使用料金はどのようになるのか。

A 平岸コミセン・平岸連絡所で受け付けします。使用料金はほかの施設を参考に算定しましたが、町内会やボランティア活動での使用は無料です。

Q 市内にホテル(宿泊施設)を建てるという話を聞いたが、実際はどうなのか。

A 赤平に宿泊施設がほしいという要望は多数寄せられています。市で建設するのではなく民間にお願いしたいと思いますが、現在、経営が成り立つものか、適切な規模はどのくらいかといった調査を行っています。

Q 住民懇談会の開始時間が遅い(ほとんどの会場で午後6時30分開始)。もう少し早い時間に始められないか。

A 以前は午後6時からの開催でしたが、仕事をしている方は間に合わないという意見がありまして30分遅くしました。町内会で都合のよい時間を協議していただけたら、調整したいと思っています。